

東大で学ぶ学生たちが伝える

いま、あなたに、知ってほしいこと。

難民の背景を持ち日本から道を切り拓く若者たちのこと。

その声と経験を聴き、日本が今後取るべき道を考えたい。

あなたが使うスマートフォンに使われる鉱物が一体どんなものか

考えたことがあるだろうか。それも紛争や暴力の原因のひとつだ。

忘れられた紛争。

顧みられない戦略的かつ破壊的な「紛争下の性暴力」の実態。

光の当たらない難民問題。

私たちは無関心かもしれない。だが決して無関係ではない。

「難民当事者」

第一部

が世界・日本の難民問題と取組のいまを語る

ムクウエゲ

第二部

「女性にとって世界最悪の場所」で闘う医師

「紛争下の性暴力」

への私たちの責任を知る映画上映・

トークセミナー

©TBSテレビ

2024.1.7.Sun.
12:50-17:00

東京大学駒場キャンパス
18号館ホール

← 詳細

参加無料
お申込→



主催：「人間の安全保障」プログラム

運営：東大難民映画祭学生有志

協賛：特定非営利活動法人「人間の安全保障」フォーラム、株式会社ファーストリテイリング

後援：特定非営利活動法人 国連UNHCR協会 お問い合わせ：rei2003.felice@gmail.com (企画責任者 金澤伶)



難民映画祭パートナーズ上映&トーク

第一部：「難民当事者」が世界・日本の難民問題と取組のいまを語る
第二部：「紛争下の性暴力」への私たちの責任を知る映画上映・トークセミナー

- 12:30- 開場・受付※
第一部：「難民当事者」が世界・日本の難民問題と取組のいまを語る ※途中入室・退室可
- 12:50-13:50 第一部開会
世界最大の難民の国際会議「グローバル難民フォーラム」に参加した株式会社ファーストリテイリングより株式会社ユニクログローバルマーケティング部サステナビリティマーケティングチーム部長ジェルバ 英子氏
「グローバル難民フォーラム」に難民リード団体として日本から唯一参加した「EmPATHy」の難民の背景を持つ若者3名が登壇します！
- 第二部： 「紛争下の性暴力」への私たちの責任を知る映画上映・トークセミナー
『紛争の原因となる紛争鉱物と難民問題～今後日本・国際社会はどのように向き合うか～』
- 14:00- 第二部開会
「人間の安全保障」プログラム（HSP）運営委員 関谷 雄一氏より
NPO法人「人間の安全保障」フォーラム（HSF）副理事長／前持続的平和研究センター長 佐藤 安信氏より
- 14:15- 上映開始「ムクウェゲ～「女性にとって世界最悪の場所」で闘う医師」
15:30- キーノートスピーチ
「紛争下の性暴力、大量殺戮、紛争鉱物と難民問題との繋がりについて」
15:50- パネルディスカッション・質疑応答（モデレーター東大難民映画祭企画責任者 金澤伶）
16:40- 全体総括・閉会
東京大学未来ビジョン研究センター特任講師／NPO法人RITA-Congo 共同代表 華井 和代氏より

第一部登壇者



Anas Hijazi 氏
シリア出身「EmPATHy」共同代表
「Japan Bridge」代表



Souzan Hussein 氏
シリア出身・早稲田大学博士課程
「EmPATHy」共同代表
「Japan Bridge」運営委員会メンバー



Khadiza Begum 氏
館林市のロヒンギャ女性・子供たちへ学習支援
Shared Digital Centerアシスタントマネージャー
「EmPATHy」難民コンサルタント

映画あらすじ



デニ・ムクウェゲ氏は、2018年、ノーベル平和賞を受賞した医師だ。
レアメタルの利権をめぐる、組織的な性暴力で武装勢力が住民を恐怖で支配している
アフリカ大陸、コンゴ東部において5万人※もの女性を救ってきた。
これは、その医師の闘いを追ったドキュメンタリーである。

※2023年現在だと8万人

第二部登壇者

キーノートスピーカー



米川 正子 氏
明治学院大学国際平和研究所研究員
NPO 法人 RITA-Congo 共同代表
元UNHCRゴマ所長（コンゴ東部）

パネルディスカッション



高崎 真一 氏
国際労働機関(ILO)
駐日代表



猪口 邦子 氏
UNHCR議員連盟 事務局長
参議院議員



高橋 有希奈 氏
東大難民映画祭学生
有志メンバー

全体総括



華井 和代 氏
東京大学未来ビジョン研究センター
特任講師
NPO法人RITA-Congo共同代表

本イベントは東京大学の学生が企画・運営しています。